

# ごうつ 市議会だより

かとう ゆき  
題字：加藤 佑季さん(石見智翠館高校3年生)



市内各地でウォーキングイベントが開催（写真は有福温泉・跡市お花見ウォーキング）

## 3月定例市議会報告

☆新年度予算審議	.....	3
◆補正予算審議	.....	4
◆常任委員会審議	.....	6

2010.5  
No.102

平成22年  
3月(第3回)定例会日程

2月26日	3月3日	4日	5日	9日	10日	11日	17日	19日
本会議 (議案上程・提案説明・質疑・委員会付託)	本会議 (議案上程・提案説明・質疑・委員会付託)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (総務委員会)	委員会 (建設経済委員会)	委員会 (予算委員会)	本会議 (議案上程・提案説明・質疑・採決)	本会議 (議案上程・提案説明・質疑・採決)
		(一般質問)	(一般質問)	(総務委員会)	(建設経済委員会)	(予算委員会)	(議案上程・提案説明・質疑・採決)	(委員報告・質疑・討論・採決)

# 3月議会定例会

平成22年第3回議会定例会が、2月26日から3月19日までの22日間の日程で開かれ、平成22年度当初予算を始め、市長提出議案41件、議員提出議案8件が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

また、一般質問では17名の議員が市政全般にわたって、市長の考えをただしました。



桜江町で開催された全員協議会 (2月19日)

## 水道事業対策特別委員会最終報告

水道事業の継続と改善を図るために、毎年、県知事をはじめとした関係所管庁への要望活動を実施してきましたが、昨年、初めて本市と県及び大田市の、三者協議が正式に発足し、その結果に基づき対策が、3月10日から12日に開催された県議会の常任委員会で承認可決されました。

県との合意により、受水料金の低減が図られることになりましたが、受水人口の減少、水道未普及地域への事業拡大、近い将来に検討される県の受水施設の耐震化対策による受水費への影響などを考えると水道事業を取り巻く状況は将来に渡り非常に厳しいものがあります。

今後、受水者に対し、少しでも安価で安心、安全な上水道水の供給に向け、更なる経営努力を求め、最終報告とします。

委員長 茅島 昇

## 行財政改革特別委員会最終報告

「議会改革」「開かれた議会」「住民との相互理解」が得られる議会を目指し、本市における行財政改革のさらなる推進を図ってきましたが、概ね当初の計画目標を達成し、一応の成果を得たと評価しました。

特に、低迷を続ける景気や、減り続ける人口による地方交付税の減少を予測し、議員定数を8名削減し、次期改選で16名とする決断を行いました。しかし、本市の財政状況が引き続き非常に厳しい状況であることは変わらず、予断を許さない状況が続くと予測されます。効率的な職員と予算の配分を行うとともに、市民への情報提供を十分行い、さらなる財政健全化へ向けた取り組みを継続するよう強くお願いし、最終報告とします。

委員長 藤代 昌希

### ○第1回臨時議会

(開催日 1月8日)

#### ◆財産の取得について

内容

迫力ある高画質な映像により、児童・生徒へのわかりやすい授業の実現及び情報活用能力の育成を図ることを目的に、地上デジタルテレビ等を取得するもの。

50型デジタルテレビ

・キャスター付き自立スタンド

・ブルーレイレコーダ

※それぞれ44台

(幼・小・中学校及び公民館へ配備)

結果

原案可決 (全員賛成)

### ○第2回臨時議会

(開催日 2月5日)

#### ◆固定資産評価審査委員会委員の選任について

外4件

(一般3件、予算1件)

結果

いずれも同意及び原案可決

(全員賛成)



## 平成22年度当初予算

～5月末の市長選挙により骨格予算(選挙後の6月補正で本格編成)～

一般会計予算

136億円 (対前年度比9.9%減)

特別会計予算  
(水道事業会計除く8会計)

50億200万円

## &lt;平成22年度の主な新規事業&gt;

事業名	予算額	事業の概要
基幹系システム再構築事業	3億1,978万円	基幹系システム(住民記録、税、国民健康保険等の基幹業務にかかる電算システム)の保守終了に伴い、全30業務システムの再構築。
子ども手当て扶助費	2億2,575万円	15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子を監護するものに対して、月額13,000円支給。 ・支給月 6, 10, 2月 ・支給見込人数 2,800人
直売所(道の駅)整備事業	1,000万円	直売所に太陽光発電システムを設置。
道の駅(直売所)支援事業	505万円	指定管理者(めぐみ)に委託する施設の維持管理に関する経費に必要な業務管理料。
市街地整備事業	2,000万円	旧済生会江津総合病院跡地に予定されている、学校給食センターの敷地等整備(造成)工事。
地震防災マップ作成業務	500万円	市内で起こりうる最大地震を表した「揺れやすさマップ」と、建物被害に着目した「地域の危険度マップ」の作成。 ・印刷数 150枚(公民館単位)
リバーサイドパーク天然芝生化新設事業	1,207万円	江の川右岸渡津河川敷を天然芝生化し、スポーツや憩いの場として提供。 ・芝生の種類:バミューダグラス

可決 原案

賛成

多数

◆予算審議結果  
○原案可決【賛成全員】  
・特別会計予算  
(国民健康保険事業、国民健康保険診療所事業、老人保健医療事業、住宅新築資金等貸付事業、公共下

水道事業、簡易水道事業、農業集落排水事業)  
○原案可決【賛成多数】  
・水道事業会計  
・一般会計  
・特別会計予算  
(後期高齢者医療事業)

◆反対討論  
一般会計予算及び後期高齢者医療事業特別会計予算については、共産党議員団の3名が反対し、森川議員及び長原議員からそれぞれ反対討論がありました。

一般会計  
補正予算

4億2,107万円減

国からの臨時交付金を中心に補正。予算総額172億9,536万円 (参考) 昨年度同月予算総額は170億2,092万円

特別会計補正予算  
(7会計)

1億7,649万円減

## ＜平成21年度3月補正予算の主要事業＞

事業名	予算額	事業の概要
ケーブルテレビ 拡張事業	▲5,241万 5,000円	ケーブルテレビ拡張工事の工事 費等精査による減額。
火葬場整備事業	▲7,199万 9,000円	整備中の火葬場整備費の事業費 の確定による減額。
地域活性化・ きめ細かな臨時 交付金事業	1,700万円	桜寿園（桜江町小田地区）の空 調整備等の改修。
	6,200万円	道路・歩道等の改修

## ＜地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業＞

国の2次補正予算において創設された事業で、危険な橋梁の補修等緊急経済対策の趣旨に沿ったきめ細かなインフラ整備を行なうもの。本補正予算において総額1億4,580万円を予算化している。

(上記以外に、公共道路事業費2,000万円、都市公園管理費1,870万円、消防施設費260万円、公民館費1,250万円、生涯学習施設管理費1,300万円を事業化)

※国の予算決定時期の関係で、市の予算計上はこの3月補正となり、全額繰越をする。

可決 原案

賛成

全員

## ◆予算審議結果

## ○原案可決【賛成全員】

- ・一般会計補正予算  
(第8号及び第9号)
- ・特別会計補正予算  
(国民健康保険事業、  
住宅新築資金等貸付  
事業、老人保健医療

- 事業、公共下水道事  
業、簡易水道事業、  
農業集落排水事業)
- ・水道事業会計
- 原案可決【賛成多数】
- ・特別会計補正予算  
(後期高齢者医療事  
業)

なお、その他に審議された市長提出議案

- ◆同意議案(1件)
- ◆条例議案(14件)
- ◆一般議案(6件)

については、いずれも同意及び原案のとおり可決されました。

### 江津市議会の議決に付すべき事件に関する条例制定について

**=内容=** 議決事件として基本計画の策定、変更又は廃止に関することを定めるもの。  
※議決事件…議会で審議しなければならないもの

**原案可決（賛成全員）**

### 江津市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

**=内容=** 本年5月に予定されている改選後の議員定数が16人となることに伴い、改選後の常任委員会の定数を変更するとともに、所管事項を一部見直し、あわせて名称変更を行うもの。

**原案可決（賛成全員）**

### 幼児教育の無償化と保育サービスの充実を求める意見書の提出について

**=内容=** 全ての子どもたちに質の高い幼児教育の機会を保障し、また、待機児童を解消し、全ての子育て世帯が安心して子どもを産み、育てる社会づくりができるための施策を求める。

**原案可決（賛成全員）**

### 高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の推進と接種への公費助成を求める意見書の提出について

**=内容=** 6ページ「総務委員会審議」及び15ページ「請願と陳情」を参照。

**原案可決（賛成全員）**

### 日米間におけるFTA(自由貿易協定)に関する意見書の提出について

**=内容=** 6ページ「建設経済委員会審議」及び15ページ「請願と陳情」を参照。

**原案可決（賛成多数）**

## 議員提出議案(8件)

### 江津市議会及び江津市議会議員の活動における基本的事項に関する決議について

**=内容=** 議会が担っている団体意思決定機能、政策形成の機能、執行機関に対する監視機能及び議会運営・管理機能の更なる充実強化を図るとともに、公正性及び透明性の確保に努め、より一層議会活動への市民参加の促進及び議会審議の活性化を図るための基本的事項について定める。

**原案可決（賛成全員）**

### 糸谷川及び下流域の河川汚濁について島根県及び邑南町による早期解決を求める意見書の提出について

**=内容=** 島根県及び邑南町に、有限会社いわみファームに対する徹底した指導及び監督に基づき、糸谷川及び下流域の河川汚濁を防止することはもとより、有限会社いわみファームと共に責任をもって損なわれた周辺環境を復元するよう強く求める。

**原案可決（賛成全員）**

### 「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書の提出について

**=内容=** 「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の趣旨に賛同し、2010年のNPT再検討会議において、同議定書を議題として提案し、その採択に向け、核保有国を初めとする各国政府に働きかけられるよう強く要請する。

**原案可決（賛成全員）**

# 総務・建設経済委員会 審議内容

## 総務委員会

### ◆高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の推進と接種への公費助成を求める意見書の提出について（陳情）

Ⅱ内容Ⅱ  
高齢者の死亡原因の多くを占める肺炎について、肺炎球菌ワクチン接種の推進と接種への公費助成を求めるとともに、国等にも公費助成を要望してほしい。

※一回の接種に約8千円の費用がかかる。

### 【委員質問】

問 接種による有効期間は。

答 効果は5年以上、長くて9年くらい続く。

問 国や県の動向について。

答 現在、国・県に制度はない。本市としても市長会を通して要望していきたいが、財政事情により『すぐにや

ります』とはいえないが、検討する。

### （討論）

#### 【反対討論】

●なし

#### 【賛成討論】

○接種によって入院率も減り、医療費抑制など財政的にも効果があるとのこと。ぜひ、国などにも要望するべきである。

○現実に医療現場で効果があり、財政負担の削減を実現できるのであれば、本市が医療福祉に対し手厚い助成をしているとアピールもできるので、実施すべきである。

#### Ⅱ結果Ⅱ

異議なく、採択すべきものと決した。

※この他にも、条例議案5件、一般議案1件が審議されました。

## 建設経済委員会

### ◆日米間におけるFTA（自由貿易協定）に関する意見書の提出について（陳情）

Ⅱ内容Ⅱ  
政府に対し、わが国の農業に重大な打撃を与える日米間のFTA交渉を行わないよう国に対して意見書を提出してほしい。

【委員質問】  
なし

### （討論）

#### 【反対討論】

●FTA交渉は農作物の輸入だけでなく、日本の工業製品の輸出拡大交渉でもあり、貿易のみならず外交問題等日本全体の利益に対する高度な政治判断を要する案件であり、地方議会からこうした意見書を送ることについては反対である。

### 【賛成討論】

○日本には大規模な農地が少なく、現在、農地の集約を行って、これらから食料自給率をあげようとしているような状況下に、米国の大規模な農場で量産した農作物が入ってくると、日本の農業は壊滅的な打撃を受けることになるので関税をかけて日本の農業を守っていくべきである。

○中山間地域では農家に対する戸別補償を十分でなくなる恐れがあり、なおかつ貿易自由化により日本の農林水産業が維持できなくなることを危惧している。

#### Ⅱ結果Ⅱ

『賛成多数』により、採択すべきものと決した。

◆江津市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について  
Ⅱ内容Ⅱ

江津中央団地4号棟（シビックセンターゾーン内）36戸の供用開始により一部改正する。

### 【委員質問】

問 いままで本市にない高層住宅であるので、転落防止等の万全な安全対策を。

答 建築基準法上設計に問題はないが、管理責任が果たせるよう再度現場を確認する。

#### Ⅱ結果Ⅱ

異議なく、原案のとおり可決すべきものと決した。

※この他にも、条例議案1件、一般議案2件が審議されました。

#### ●●●●●●●●●●

3月8日、両委員会において、所管事項の調査として、「江津中央団地4号棟」と「いわみファーム（邑南町）」へ現地調査を実施しました。



# 市民の声を行政に問う

※原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

## 当初予算の1%を

市長／全力で取り組む

### 医師確保



森川佳英

**問** 世界でも異常な医師不足を招いた旧自公政権の責任は重大。済生会病院の17の診療科、すべての機能別病棟が有効に活用されるよう医師確保の緊急対策を。  
**答** 各大学医学部との

太いパイプを保ちながら、医療従事者の労働環境の整備、医師・看護師等の住宅の整備、赴任される家族の為に病後児保育の実施をする。また市内からの医学生を初め、医療従事者を目指すような子供たちへの教育など旺盛に展開する。

**問** 海外医学部との連携で豊かな臨床機会の提供、市職員としての雇用、独自のドクターバンクの創設、医師会との連携などに当初予算1%（1億数千万円）を。  
**答** 市としては頑張る所は頑張つて、済生会へのドクター・看護師の確保、国に対しては構造的な欠陥への是正要請。地域枠拡大での医師確保を受け入れる為の施設・基盤整備・体制・あらゆる保障問題等の事を良く考えて医療対策を行う。



回復を待つ患者さん（済生会江津総合病院）

## 国民読書年の施策は

教育長／読書環境を整備

### 読書教育



川崎泰孝

**問** 現在、図書館建設へ向けて基本構想の策定中であり、今年は国民読書年でもある。読書啓発活動の状況と今後の取り組みは。  
**答** 読書啓発活動として、就学前幼児に対して公民館や子育て支援センターとの連携、小学校では朝読書、小中学校に学校図書館司書の配置、図書館では4月

23日の子ども読書の日や10月27日の文字・活字の日を通して、それぞれ読書意欲の育成と読書環境の充実更に更に努める。

**問** 邑南町の養豚場からの汚水流出問題につき、覚書の関係機関として、本市の基本認識と操業停止の地元要望に対しての対応は。  
**答** 操業時の覚書には業者が加わっており、その後平成14年に業者と地元自治会と関係機関として旧石見町、旧桜江町、旧の間で改めて覚書が締結されており、新市において履行すべきと考える。地元要望については、地元と同じ立場に立って、行政間の協議に臨む。



ボランティアによる朝の読み聞かせ（桜江小学校）

学校再編

特色ある教育実践を

教育長／協力体制が必要

**問** 複式学級解消を目的に小学校再編を考えているようだが、複式の授業もひとつのすばらしい教育。メリット、デメリットの考えは。

**答** 児童の特性を把握でき、決め細やかな学習指導ができ、人間関係が深まりやすく地域と連携しやすい。反面、競い合い学び合う気持ち薄れ、評価が固定化し、学習意欲や協同性に問題が生じやすい。今の子どもたちは家でも、学校でも少人数の状況。教育環境を整える必要がある。

**問** 跡市小は、地域とのつながりも深く自ら進んで学習している。他地区からの受け入れも視野に、個性を伸ばせる特色ある教育現場



極小規模校の研究授業（跡市小学校）

**問** の実践を。

**答** 学級内に、ある程度の人数を確保することで、聞く力、コミュニケーションをとる力、違う考えを理解する力

を養う。他地区から就学することも認められているが、問題を生じやすい。学校運営や授業内容、地域行事など特色をだす必要があり、地域など全面的な協力体制が必要。



森脇悦朗

〈県内自治体の経常収支比率〉

団体名	経常収支比率(%)	団体名	経常収支比率(%)
松江市	89.0	斐川町	93.5
浜田市	91.0	川本町	93.1
出雲市	92.8	美郷町	89.1
益田市	96.9	邑南町	93.5
大田市	94.2	津和野町	93.1
安来市	83.7	吉賀町	87.8
江津市	97.3	海士町	92.0
雲南市	93.1	西ノ島町	94.7
東出雲町	95.2	知夫村	96.7
奥出雲町	86.0	隠岐の島町	96.3
飯南町	87.7		

総務省「平成20年度地方公共団体の主要財政指標一覧」より

～クリック～<経常収支比率>

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、比率が高くなると弾力性を失いつつあり、新規事業の実施が難しくなる。

更なる行財政改革を

市長／やるべきことはやる



山根 兼三郎

**問** 地元資源を生かした有福温泉の振興と、生活に不可欠な道路と駐車場を整備した中心市街地の再開発について今後の計画は。

**答** 有福温泉の再生を目指すことが、地域の雇用や活性化につながる。民間からの再生計画に対し、市でも回遊ゾーンや神楽殿を整備するため地元協議会と話し合つて進めている。駅前には国県道の整備を含めて議論している。新年度に旧商業施設の解体を計画している。

**問** 経常収支比率が悪化している。行財政改革大綱と財政危機打開緊急対策が今年度末で終了するが、更なる行財政改革が必要では。

**答** 枯渇が危惧された財政調整基金と減債基金は平成21年度末で計10億円となり大きな成果があった。本市は他市にはない先進的な施策をしていることもあり、今後やるべきことはやる。ただし行財政改革は市政が続く限り進めていかなければならない。



交通問題

生活交通バスの充実を

市長／支援のあり方を検討



長原 富夫

問 生活交通バスは、共産党議員団が事あるごとに取り上げてきた。

今回、石見交通川戸線撤退問題で、市内全域の整備・充実を。

答 川戸線廃止・撤退は、存続を願い、今後の路線合理化を検討する場合、事前協議を要望した。仮に川戸線が廃止されれば、スクールバスの混乗による代

替案や市の支援の在り方などを検討し、適切に処理する。  
問 来年度内に、山中線が開通する。山中線を利用し、桜江から国道261号を回って市内へ帰るルート設定の検討を。

基本にある事項で、今後は、浜田自動車道旭インターと市内との連結等も考える。  
公共交通事業計画の前提としては、市内の公共ネットワーク「JR山陰線、三江線、石見交通4条路線」などを維持することが基本である。



昨年10月より始まったデマンド型生活バス（川平町）

川の活用

「川の駅」の設置を

市長／要件は合致



土井 正人

問 河童作戦と称しKで始まる①環境②健康③教育④観光⑤危機管理⑥交流文化⑦婚活の7件のうち、江の川と薨街道を一体化した観光地としての考えは。

答 平成15年度夢街道ルネサンスの認定を受けた天領江津本町薨街道では、本町の歴史、文化、古い建物や通りをいかした町並み整備



イベント「ふらり」でにぎわう人々（江津本町）

を地域住民と共に進めている。江津工業高校生徒による空き家活用、船着場の提案もなされ、江の川の歴史や文化を大切な財産ととらえ、地域振興に繋げるよう考える。

問 川の駅は川の近くか、川の活動に関した施設であるが、水の国を情報発信と交流の場となる「川の駅」設置を。

答 「水の国」は水をテーマにした現代美術と科学を融合したミュージアムであり、水について考え、感じ、知り、楽しむ文化教育施設である。

川の駅の定義のうち地域情報発信と交流施設機能は少なからず不足しているが、それ以外の要件は合致していると考え。

### 健康増進

## 女性のがん対策を

市長／全力で支援



永岡 静馬

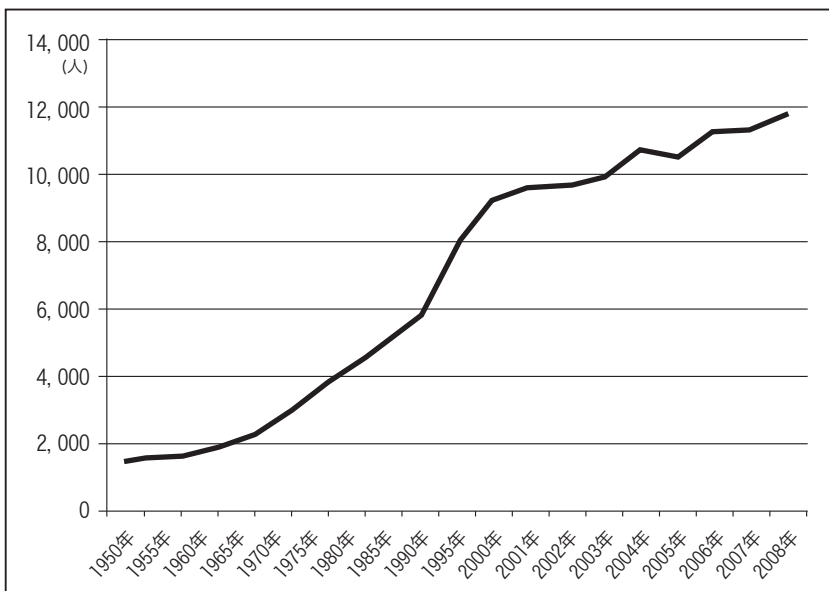
**問** 女性特有の乳がん・子宮頸がん検診は昨年、検診手帳と無料クーポン券が配布され、受診促進が図られているが、取組み状況は。

**答** 女性特有のがん検診推進事業では、子宮頸がんは20歳から5歳刻みで40歳まで、乳がんは40歳から5歳刻みで60歳までの女性に検診手帳及び無料クーポン券を送付し、受診促進を図り、がんの早期発見と健康増進を図っている。

進基本計画を踏まえ、受診率を5年以内に50%にすることを目標に、市町村のがん検診事業の拡大が必要なことから、本年度も財政措置がされている。それ以降は未定だが、5歳間隔の節目が対象者なので、最低5年間は事業継続が必要と考える。

**問** 5歳刻みでの実施だが、今後も継続して実施する考えは。

**答** 国ではがん対策推



乳がんの年間死亡数（日本人女性）/情報：国立がんセンター

### 特別支援

## ぶれジョブとは？

教育長／一体となった人づくり



河野 正行

**問** 特別支援教育については、本市では「ことばを育てる親の会」の皆さんが積極的に活動しているが、現状と今後の進め方は。

**答** 平成21年5月1日現在、本市の特別支援学級数は、小学校が15学級で23名の在籍、中学校では9学級15名の在籍となっている。年々



製陶所(嘉久志町)で、ぶれジョブ中の生徒とジョブサポーター

**問** 特別支援が必要な小学生5年生から高校生3年生くらいの児童・生徒のための職場体験で、地域の力で子どもたちを育てようとの思いから、保護者、学校、地域の企業、地域の方たちと協力しながら行ってきた活動で、1週間に1回、1時間の職場体験です。

**答** 特別支援が必要な小学生5年生から高校生3年生くらいの児童・生徒のための職場体験で、地域の力で子どもたちを育てようとの思いから、保護者、学校、地域の企業、地域の方たちと協力しながら行ってきた活動で、1週間に1回、1時間の職場体験です。

本市では、サポート企業が13社、現在までに3名が体験中。



### 学校教育

#### 小中連携教育の導入を

教育長／連携教育を推進

**問** 全国的に小中一貫教育が推進されている。

**答** 江津東小と江東中、桜江小と桜江中は、隣接しており、学校同士の授業参観や学校行事への参加など、小中連携の取り組みをしている。

**問** 昨年度以降も引き続き存続されるように、本市の最重要課題として働きかける。

**答** まだ県として確たる結論は出されていないのが現状だが、江津工業高校ならびに江津高校は、本市にとって

無くてはならない高校だと認識している。平成23年度以降も引き続き存続されるように、本市の最重要課題として働きかける。



島田 修二



英語の楽しさを教える江津高校英語科の生徒たち（桜江小学校）

### 複合施設の建設を

市長／十分に議論する

### 文化施設



門 屋臣

**問** 図書館・歴史民俗資料館・美術館・博物館を一つにした統合複合施設建設を。

**答** 図書館・歴史民俗資料館建設については、建設基本構想策定委員会で議論中であり、福祉施設等の複合施設は別途検討する。歴史民俗資料館としての機能を図書館に持たせるか、併設するか、別の施設



故・七田眞氏より寄贈していただいた石見根付「百足」  
(グラントワに保管中)

とするかなどについては、十分議論する。

**問** 石見根付など、人を呼べる作品や希少価値のある資料の展示保管施設としての検討を。

**答** 本市が石見根付の発祥の地であり、石見根付は、日本より外国での評価が高く、寄贈された根付は、石見美術館から返還を受け新しい図書館、歴史民俗資料館に展示したい。

古文書などの常設展示場所についても議論している。

◆石見根付の特別展  
平成22年4月28日  
(水) から7月19日  
(月) まで、島根県立石見美術館（グラントワ）にて、「七田眞コレクションを中心に」特別展を開催。



医療連携

医療機関の連携を

市長／役割分担が必要



山本 誉

問 本市での地域医療を守るための取り組みの成果は。

答 市内出身者、関係医師のリストを作り、直接面談に取り組んでいる。たび重なる派遣要請を重ね、7月下旬に内科医の派遣あり。またシンポジウム等を通して時間外の診療も減っている。

問 地域医療支援計画や浜田圏域での対策会議、連絡協議会等での具体的な成果が見えてこない。医療関係の連携を。

答 済生会江津総合病院と江津市医師会との診療の連携と具体的な協力内容について現在協議をしてもらっている。

西部地域での医療に

については役割分担が必要。受け持つ分野のみ分けを行い、済生会江津総合病院のあり方の検討が必要。また病院に勤める医療従事者の勤務環境の整備、支えあえる環境作りも大切であり、総合的に進めていく。

※なお、学校再編の問題についても質問しました。



済生会江津総合病院の看護師OBによるボランティア活動

環境保全

汚水流出の対策を

市長／積極的に対応

問 邑南町の養豚場からの糞尿污水が糸谷川に度々流出し、下流域住民は生活に不安を感じている。覚書を締結している関係機関の対応は。

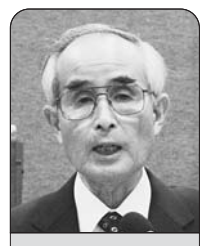
答 指導・監督する立場の島根県は、今回の故意による汚水排出を重く受け止め「いわみファーム」の家畜排泄物の適正処理をするため、「島根県家畜排泄物対策検討会」を設置した。

施設の改善命令や現地踏査をし、指導・監督を強めている。近々、地元説明会をひらく。

問 地元から自然環境の復元と過去の経緯から操業停止を求めている。覚書が違反され、生活環境を破壊され15



「いわみファーム」への現地調査（3月8日）



田中直文

年間も住民は苦しんでいる。汚水流出対策を。

答 業者、地元自治会を含む五者合意のもと締結された覚書を違反したことは許される行為でない。覚書の遵守

と地元要望の四つの項目の実施に向けて、島根県と邑南町へ指導・監督を強く働きかけ、早期に住民の理解を得られるよう積極的に対応する。

## 防犯対策

## 安心安全な通学路を

市長／施設拡充する

**問** 夕暮れ・日没時の小・中学校の通学路が暗い。行政が防犯灯・街路灯の設置を積極的に行い「安心安全」な通学路確保を。

市町とも連携する中で、議会・住民の皆様といっそう勉強を重ね、チャンスがあれば果敢にチャレンジしていきたい。

～クリック～

＜核融合エネルギー＞  
核融合反応により得られる新エネルギー。核廃棄物を出さず、水中の水素を原料とする。  
※現在研究中

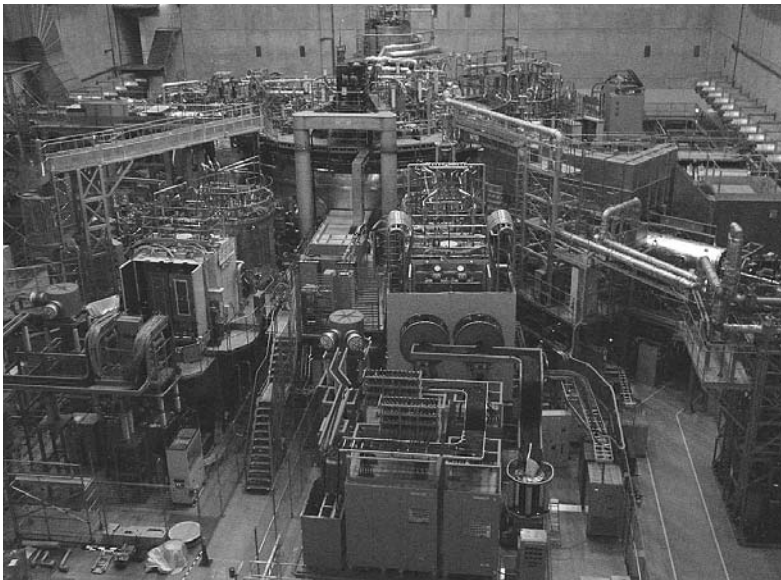


石橋 孝義

**答** 安心安全は当地域の売り物である。学校周辺の道路照明等の設置基準の検討を進めている。近日中に設置基準が出来たら、防犯灯等施設も今後拡充する。

**問** プラズマ発電は、化石燃料に代わる21世紀の発電エネルギーといわれている。研究所との連携や国家プロジェクトの発電所誘致を。

**答** 関連研究は、新たな技術開発で業界や中・高校生教育にも役立つので連携を進めた。環境にやさしい発電所誘致は、県や近隣



ヘリカル型プラズマ実験装置（岐阜県土岐市：核融合科学研究所）

**問** 両親から子どもへの貧困の連鎖を断ち切るために、就学援助制度の周知が必要。市の周知やホームページは利用者に不親切。改善を。

**答** 「就学援助制度」の受給率は、小学校では8・4%、中学校で11・4%となっており、近年々上昇している。こ



川上 テル子

## 就学援助

## 貧困の連鎖改善を

市長／改善・検討する

の制度は必要な人に必要な援助の手を差し伸べるといふ大前提がある。ホームページの改善は考える。広報、学校への周知は今後検討する。

**問** 放課後児童クラブには市営、公設民営、民設民営があり、運営方法の見直し、待遇改善など必要では。



民設民営で運営している「わたづにここクラブ」

**答** 放課後児童クラブの面積の最低基準をクリアしていないのが「わたづにここクラブ」で、市営の指導員は社会保険に加入できるが、他はできないなど労働条件で違いがある。利用料は国の基準以下。今後は放課後子ども教室を含めて整理していく。



**問** 地域消防団の活躍は、被災者には大きな力添えになり期待も大きい。活動は多種多様化しており、対応できる組織が望まれる。機能別消防団設置と女性団員の充実を。

**答** 市より一層の非常備消防団の拡充には努めていく必要がある、機能別消防団についても考えて行く。女性消



盆子原 民生

消防行政

女性団員の充実を

市長／前向きに検討



和木婦人消防隊による力強い放水（平成22年消防出初式）

**問** 女性消防団員の募集方法と配属、機能別消防団結成についての問題点は。

**答** 各分団においての

防団員については、現在各分団に配属され、消防団活動の一役を担ってらっしゃる事は事実であり、女性団員の充実を図り、男女共同参画都市宣言した本市にとっては、前向きに取り組みたい。

募集と公募の方法があり、公募を実施したが増員につながらなかった。様々な方法で増員に努力する。女性団員に対しては、欠員が生じている分団に配属している。今後の消防団の組織を検討する上で、迅速な活動が出来るよう考える必要がある。また問題点については、市消防団の組織改正が必要である。

**問** 今期4年間の一般質問の検証のうち①江の川無堤防地区の状況は。②若者定住住宅の検討状況は。③農林直売所の品揃え・出店取りやめの影響は。④光ファイバーの状況は。⑤食育推進の講習やセミナーの検討・協議会の設置は。⑥子育て支援に対する医療費助成の義務教育課程までの検討を。

**答** ①田津地区は今年度3か所のボーリング調査を行い、築堤計画策定準備が進められている。②当面は空き家活用で、定住住宅の確保や公的住宅で若者定住を図る。③年間を通じた品揃えはまだ十分でなく、道の駅全体に影響がある。JAと連

行政全般

無堤防地区の状況は

市長／計画を策定

携し取り組む。④通信事業者に対する支援制度創設等を国・県へ引き続き重点要望する。⑤保護者世代のため、土日の講演会等を実施している。また、推進



早期計画が望まれる無堤防地区（完成間近な渡田堤防）

会議については、平成22年度立ち上げ準備をする。⑥県の改正により216万円負担減となるので、子育て施策展開を考える。



藤田 厚



## 汚水問題

### 損害の補償を

市長／県の推移を見て



山中 愛三

**問** いわみファーム養豚場内からの汚水が原因で被害が生じた場合、損害を補償するべき。河川、田畑の損害の補償を。

**答** 河川、自然環境の復元の費用については、1月29日に県知事あてに地元から要望書があり、このことも含めて県を挙げて検討会を立上げ、現在は県土木部も入り検討されている。

推移を見ながら市として対応を考えていく必要がある。

**問** 養豚場内の汚水流出も、すでに15年が経過。下流の八戸川、江の川などの影響と今後の対策は。

**答** 糸谷川と日和川の合流点付近までに、伏流水になる所もあり、

合流点付近では、幸いにして黒い濁りなどの汚水は、到達していない状況。特に、これか

ら下流の被害については調査をするという計画はない。



いわみファームに対し、要望書を手渡す江尾自治会代表者

# 請願と陳情

日米間におけるF T A(自由貿易協定)に関する意見書の提出について(陳情)

※12月議会での継続審査分

=内容= 政府に対し、わが国の農業に重大な打撃を与える日米間のF T A交渉を行わないよう国に対して意見書を提出してほしい。

<反対意見> なし

採択(賛成多数)

高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の推進と接種への公費助成を求めることについて(陳情)

=内容= 高齢者の死亡原因の多くを占める肺炎について、肺炎球菌ワクチン接種の推進と接種への公費助成を求めるとともに、国・県にも公費助成を要望してほしい。

<反対意見> なし

採択(賛成全員)

# 「議会基本条例は改選後に委ねる」

議会活性化特別委員会委員長 最終報告

本特別委員会は、議会に求められている議会の権能を十分発揮し、その責務を果たしていくためには、議会基本条例の制定は必要不可欠として、総合的に検討を行うために、平成20年12月に設置されました。

江津市議会ならではの議会基本条例を目指し、他市町の先進地を視察研究し、また、中央から講師を招き政策法務研修や地方自治法研修などを開催し、委員会で計15回の協議を重ねてきました。

当初は、当たり前のように議会基本条例をつくる方向で検討が進められ、素案の骨格も早期にまとまりましたが、研修や法律家の意見等に触れるたびに、我々がつくりようとしている条例は、果たして制定すべきものなのかとの疑問を抱くようになり、他で先進的に制定されている議会基本条例は、概ね当たり前のことを条文化しているにすぎないのではないかと、という思いが払拭できなくなり、委員会としては、条例の意義は認めるものの、議会運営については、議会内部の事柄であり、基本条例を設けなくても十分に責務を果たすことができるのではないかと考えに至りました。

当委員会としては、一通り条例素案は作りましたが、成案を得るには、なおいくつかの過程が必要であり、内容的にも、手続き的にも時間をかけて協議する必要があり、議会基本条例の制定は、改選後の次期議会に委ねることとして意見が一致しました。そうしたことから、基本条例にかわるものとして『江津市議会及び江津市議会議員の活動における基本的事項に関する決議』と合わせ、議会のチェック機能の充実強化を図るために『江津市議会の議決に付すべき事件に関する条例』（5ページ参照）を提案することにしました。（委員長 川崎泰孝）



先進地視察(白老町1月27日)

## 『江津市議会及び江津市議会議員の活動における基本的事項に関する決議』（抜粋）

- 市民に開かれた議会運営を行う。○議員の会議は原則公開し、情報公開を行う。
- 議員と市民が市政全般にわたり意見交換をする機会を設ける。
- 議員は、公益の実現を目指した活動を行う。○議員は、政治倫理に基づき誠実な活動を行う。

## お知らせ

○請願・陳情の  
受付について

請願書および陳情書の受付は、本会議初日の8日前の午前中までです。

〔例〕

6月定例会市議会で、本会議初日が6月10日の場合

『6月2日の午前中まで』となります。

それを過ぎますと、次定例会市議会（9月定例会市議会）に付託・審議されることとなります。

○議会のテレビ放送  
について

江津市議会では、定例会一般質問を、ケーブルテレビで生放送しています。市政を知りたい機会ですので、ぜひご覧ください。

※今後は、初日及び最終日も放送する計画をしています。

## 編集後記

今年もあっという間に3月が去り、4月も終わろうとしています。

議員それぞれの思いをもって今期で勇退される方、そして更なる市政発展のため、次期に向け挑戦をされる方、残された1ヶ月余り、「たつ鳥後をいこさず」の心境で、最後の最後まで議員としての自覚をもち、市民の皆様の信頼を損なうことのない様努めてまいります。

（土井正人）

## 編集・発行責任者

議長 福原 昭平

## 議会広報・情報公開対策特別委員会

委員長 森脇 悦朗  
副委員長 山根兼三郎  
委員 島田 修二  
委員 森川 佳英  
委員 河野 正行  
委員 藤田 厚  
委員 田中 直文  
委員 土井 正人